

(5) 事務局担当者へのアンケート

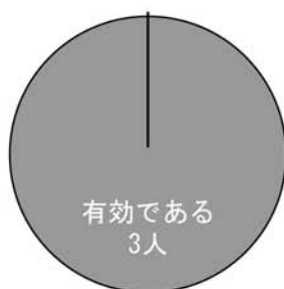
平成22年2月に、平成18年度採択校4校の民間事務局担当者4名を対象として、アンケートを実施し、4名全員から回答を得た。

アンケートの内容は以下の項目に分かれている

1. サポート本部の支援について
2. 全国会議について
3. 事務局業務について
4. ホームページについて
5. 事業への意見・感想

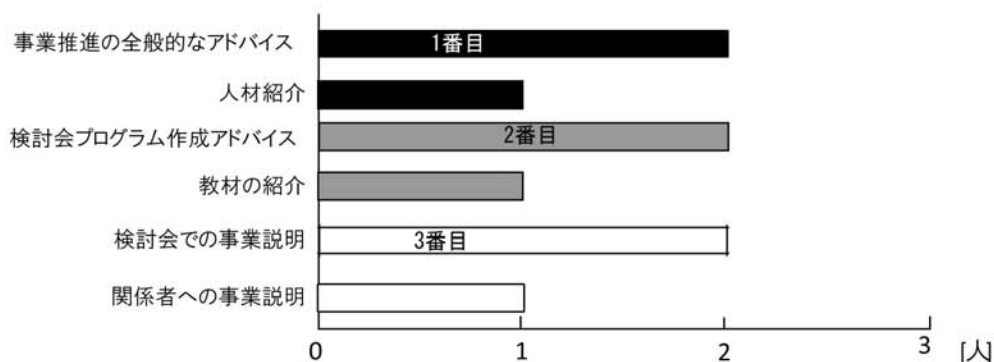
1 サポート本部の支援について 回答者数 4人

(1)エコフローサポート本部のサポートについて

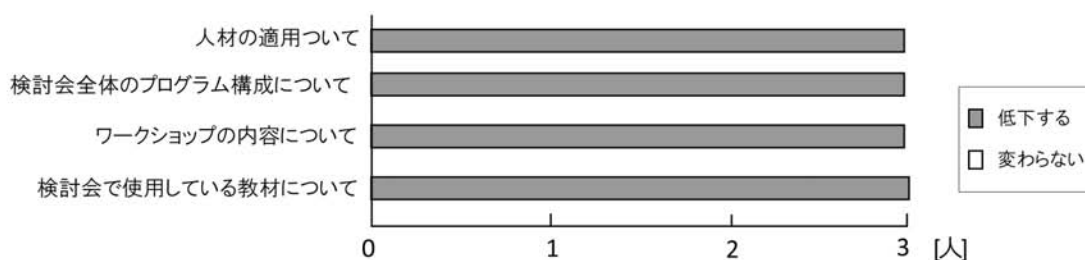


1名:事業途中から関わったため評価できない。

(2)有効であったサポート内容について (1番目から3番目を選択)
 ((1)で有効と答えた人に質問)



(3) 本事業を行うにあたって、サポート体制がなかった(サポート本部がない)場合、研究会におけるa~dの「質」はどのようになったと思われますか。「向上する」、「変わらない」「低下する」の中から当てはまるものを選んでください。

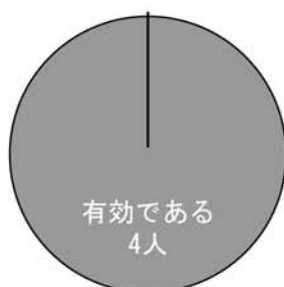


コメント:事業終了後の環境教育の継続、広報等についてもサポートをいただけるとありがたいです。

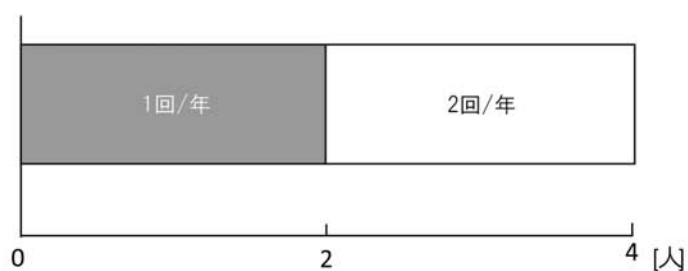
2 全国会議について

回答者数 4人

(4) 全国会議の有効性



(5) 全国会議の開催頻度の適正回数について (4)で有効と答えた人に質問)



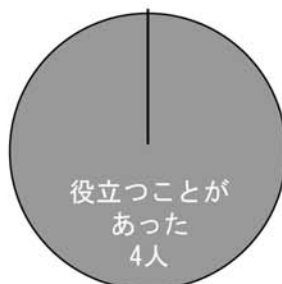
全国会議についての要望

- ・事務局のみの全国会議を年に1回開催すると思った。
- ・全国会議終了後に、各モデル校で共有ができると思うので、できるだけ多くの議題について話あうためにも、全国会議の2日目は、分科会形式がいいと思った。
- ・今後モデル校が増えていくことを考えると、分科会で同じ立場の人間が情報交換できる時間があるとありがたいと思う。
- ・全国の意見交換ができる貴重な場だと思うが、やや一方的な発表・講演に終始している気がする。もう少しグループワークやディスカッション形式を取り入れてもいいのではないかとと思う。もしくは、学校ごとにブースを作り、各々展示・プレゼンをし、参加者自由に見て回れるようなしかけ等も考えられるのではないか。
- ・事務局、設計者、自治体等の役割毎での分科会で突っ込んだ意見交換ができる場が必要だと思う。学校現場の意識を高めるような内容も必要だと思う。

3 事務局業務について

回答者数 4人

(6)事務局を担当したことにより、今後の他の業務に役立つことはありましたか



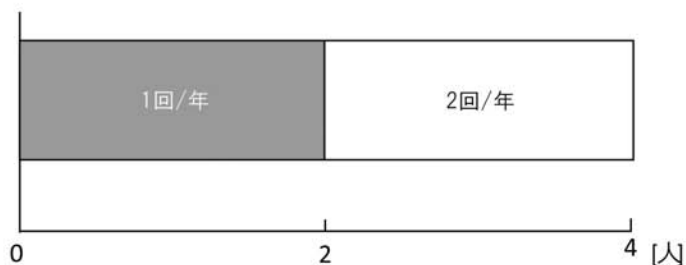
(7)どのような業務に役立つとおもいましたか

- ・今後何か大きなプロジェクトを実施してく時の事務局としての在り方。
- ・学校や環境教育についてのサポートの仕方。
- ・エコ改修兼用会の実施、運営：環境技術を自社の顧客にも進められる。
- ・環境教育の実施、運営：自社建築事務所の運用、ソフトの充実。
- ・エコ改修工事との関わり：現実的に普及ができそうか、自社にもとりいれられるかの判断材料になる。
- ・学校、設計者、行政、地域と一体となり設計を進める、そのコーディネート業務。
学校に限らず、今後こういった取りまとめのポジションはより重要になってくるとされる。
- ・研究会：3年間という期間、大学の先生と交流できた。地域の環境・エネルギー分野で今後、共同研究などできるとよいと思っている。
- ・エコ改修：居抜きの改修工事また学校改修の難しさを改めて実感した。他の同様な改修工事での提案や設計・監理に役立つと思う。
- ・環境教育事業：学校現場での環境教育への考え方、進め方を経験できた。考えている以上に学校現場で実行することの難しさを実感した。やる気のある先生、特に校長、教頭、学校主任の意識が重要なので、学校全体の雰囲気づくりが大切と思っている。他の業務全般でも、エネルギー環境教育の分野は知っていて当然の時代になってきているので、その経験・実績をアピールできると感じている。

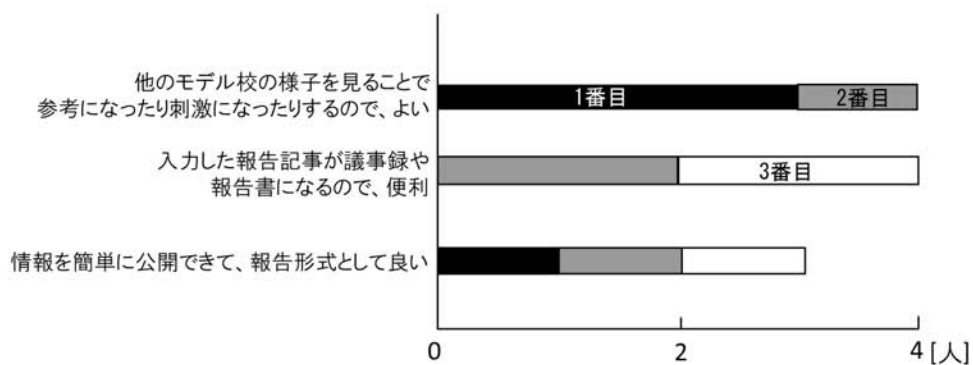
4 ホームページについて

回答者数4人

(8) 事業のホームページの閲覧状況



(9) モデル校の取り組みをブログ形式で報告するスタイルについて (1番目から3番目を選択)



ホームページに関する要望:

- ・写真を拡大して閲覧できたり、動画も張り付けられるといいと思った。
- ・コメント欄(承認制)を設けてもいいのではないかと考えた。
- ・トップページで各校の最新記事がタイトル+写真のサムネイルの一覧がわかる方がよい。
また、更新された学校はNEWを付けるなども必要ではないか。
- ・事業後の利用については、学校側に対する強制力がないし、少しの作業でも負担に思い、更新は期待できないと思う。今後の方針を自治体に示す必要があると思う。

5 事業についての意見・感想

回答者数4人

- ・工事終了後のフォローを是非引き続きよろしく願います。
- ・素晴らしい事業だと思いますので、是非、文部科学省に引き継いで行ってもらいたいと思います。
- ・大変有意義な事業だと思います。今後もどんどん拡大していただきたいし、この事業のスタンスがいずれ学校建築の標準設計になってくれればいいと思っています。色々とお世話になりありがとうございました。
- ・設計、環境、教育が一体となった取り組みとして非常に勉強になりましたが、同時に難しさも感じた2年間でした。これからは、このノウハウの蓄積をどうやって周囲に普及させていくかにあると思います。サポート本部としても、その点に主眼をおいてさらに上手にPRを進めていってほしいです。
- ・事務局委託して実施する場合は、やはり地元設計事務所が良いと思う。金額的にも抑えられる上、後々自治体だけでなく地域の中で設計事務所なりコンサルなりが中核となって動けるようになると思う。
- ・設計は地元設計事務所の提案能力、技術力不足を感じた。JVを組むようにして地元設計事務所のスキルアップを図るといい。検討会での成果は僅かだと思う。検討会の時間を設計の基本設計に当てられればもっと良い成果が上がったと思う。設計中に公開レビューをすれば、他の事務所にとっても勉強になるし、設計者もプレゼン能力は上がると思う。
- ・環境教育は、教育委員会が中心となって進めなければ学校現場はついてこないと思う、自治体の事業を実施の際の条件としたほうが良い。
- ・最後に、事業全体の魅力（金、コーディネーター派遣など）を高めなければ、自治体が事業をぜひやりたいと思うことは無いように思う。（業界からの押しつけのように感じていると思う）